



前期課程

来てくれてありがとう

三年A組 立松 飲大

十二月十六日と十八日は、ほくたち三年生が作った野さいのはん売をしました。十月にたねまきをして、水やりや草むしりをしたり、虫が葉を食べないようにくふうしたり、かんさつ日記をつけたりして、大切に育てました。農家さんに水やりのタイミングや、葉を虫食いから守るくふうを教えてくださいました。



そして、はん売の時にお客さんによるこんでもらえるくふうをし

ました。ほくは、お客さんが安心して買ってくれるように、水やりをしている写真などをはん売の会場にはりました。

はん売当日は、全部売れるか少し心配しましたが、全部買ってもらえたので、うれしかったです。

野さいを作るのはとても大変なことでした。でも、お客さんがたくさん来てくれて、よるこんでもらえたのでとてもうれしかったです。ありがとうございました。

楽しかった野さいはん売

三年B組 小坂井 杏莉

わたしたち三年生は、すこやかセンターで野さいのはん売をしました。わたしは売っているとき、とっても楽しかったです。みんなも笑顔だったので、よかったと思います。野さいを育てるためにいろいろ教えてくれた農家さんも買いに来てくれて、とてもうれしかったです。

レシピを持っている人たちが「うれしい」夜ごはんにしよう」と言っていたので、うれしかったです。くじやプレゼントで大当たりや当たりをひいてえ顔でした。売

り終わって全部売れて、とってもうれしかったです。

家に帰って、夜ごはんにはうれん草を使つて、りょうりを作ってもらいました。とてもおいしかったです。家族も「よくがんばったね、とてもおいしい」と言ってくれたから、しゅうかくやふくろづめをがんばつてよかったと思いました。



落語を見て

五年A組 犬飼 莉愛

芸術鑑賞会で、落語を見ました。落語は、日本だけのものだと思っていましたが、今は世界中に広がっているから、英語の落語があると

分かりました。

落語は、一人で物語を表現するから、目線や動きで、表現の仕方が変わると分かりました。英語落語でも日本語落語でも、話す人の表現と、聞く人の想像で、伝わり方が変わるので、話す人の表現が一番大切だと思います。また、話す人が、伝えたいことを手ぬぐいやせんすなどの本物ではないものを使い表現するので見る人は、想像力が必要だと思います。

落語は、伝えたい場面で小物を使い、話す人の表現で見ている人を楽しませることのできるものだと思います。



芸術鑑賞会

六年A組 戸田 晃成

「えっ、ぼくですか？」と驚きました。芸術鑑賞会の開会式の司会をやつてねと、先生に言われたからです。今年の鑑賞会は、落語です。ぼくは、落語がどのようなものか知らないし、舞台でとても緊張しましたが、前を向いて上手に話すことができました。司会が終わってほっとしました。

それから桂かい枝さんの落語を聞きました。顔の向き、目線を変えられることで何人もを演じ分けていることを知って驚きました。部屋の大ささや声の大きさ、話す速さを変えて表現しているので「分かりやすいな」と感心しました。

「初天神」という落語では、扇子を使ってお団子を表現していたり、お父さんと子どもの声や話し方を変えていたりして、おもしろいと思いました。「動物園」は英語落語でした。英語だけれど、動きで何をやっているのかが分かって笑いました。外国の人にも落語を知ってもらおうと活動しているかい枝さんはすごい方だなと思いました。閉会式では、また落語を聞いて

みようと思ひながら、拍手をしました。



後期課程

女子卓球部部长として

八年A組 伊藤 星恰菜

女子卓球部では、「礼儀」を大切にしています。特に、挨拶に力を入れています。挨拶は当たり前のことですが、まだまだ全体的に声が小さいので、声を張って練習に取り組んでいきたいです。



サッカー部は、先生方が練習に

八年A組 山口 綜也

サッカー部部长として



一緒に交わりながら指導して下さったり、全員が仲間のプレーに盛り上がったたりして、楽しい雰囲気です。練習をしています。これからチーム一丸となって、西尾張大会出場に向けて頑張ります。

野球部部长として

八年A組 阿部 倅熙

野球部では、最近寒くなつて来たので、本格的に冬練へ入りました。秋までは主に守備練習に力を入れてきましたが、冬練では重いバットでソフトボールを打って、打撃力をつける練習に取り組んでいます。





バスケットボール部 部長として

八年B組 久野 由里加
私たちバスケットボール部は、西尾張大会出場に向けて、日々練習を重ねています。現在は、チームの課題であるディフェンスの強化に取り組んでいます。バスケットボールは仲間同士のコミュニケーションが大切なので、チーム全員で声かけをすることを徹底しています。



創作奉仕部部長として

八年B組 金城 まりあ
私達、創作奉仕部が力を入れて取り組んでいることは、部員の仲間達と協力して、色々な作品を丁寧に制作していることです。今年は、新型コロナウイルスの影響で、作品を出品する場が少なくなってしまうしましたが、来年は機会があればいつでも沢山の作品を出品できるように、仲間達と作品作りを頑張っていきたいと思います。



男子卓球部部長として

八年A組 早川 隆真
僕たち男子卓球部では、大会で良い記録を残せるように頑張っています。他校との練習試合で、自分達に足りないところに気付くことができたので、現在は課題の克服に力を入れています。



ソフトテニス部 部長として

八年B組 太田 美月
私達テニス部は、新型コロナウイルスの影響で、十一月まで他校との試合や大会ができずにいました。そのため、練習試合ができるようになったときに感じたことは、相手校の生徒との接し方が上手くできずにいたことでした。少しずつ練習試合ができるようになった今、まずは私達自身が、礼儀正しく、気持ちで負けないチームを作り上げていきたいと思っています。

